

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 石川よしはる

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和6年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項

質問の要旨(具体的にご記入願います)

1. 武豊町消防団並びに武豊町職員による消防支援隊について

【趣旨説明】

本年1月1日に能登半島地震、令和2年7月豪雨をはじめ地震・豪雨等による災害が毎年のように発生している。こうした災害の発生時には、多くの消防団員が即時に出動し、災害防除活動、住民の避難誘導・支援、被災者の救出・救助等に当たっている。地域を熟知した消防団員による活動は、多くの人命を救うなど大きな成果を挙げており、住民からも高い期待が寄せられている。自らも被災しながら危険な現場において行われる献身的な活動は高く評価されている。

多くの消防団員が殉職、犠牲となった東日本大震災後、制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」では、今後も自然災害の頻発が懸念されることを念頭に、消防団は「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在であること」が明記されている。同法の趣旨を踏まえ、本町並びに、消防団関係者において、消防団の強化、地域防災力の充実に向けた努力がなされていることには、敬意を表します。

武豊町では、消防団OBで組織いたします機能別分団、役場の消防担当並びに消防署、支署勤務のOBで組織する第6分団、役場職員で消防活動を支援する消防支援隊を設置し、地域防災力の向上に努めてきました。また、消防団員の出動手当の大幅な増額、資格取得支援等、団員の待遇改善を実施してきました。

しかしながら、少子高齢化が進む中、消防団を取り巻く情勢は一層厳しさを増していると考えます。今こそ、住民一人ひとりの命を守る消防団をどのように充実強化、地域防災力を充実することが大変重要であると考え、以下、質問する。

【質問事項】

- ①各分団・消防支援隊の定員と欠員状況の経年的推移は。
- ②近隣市町の消防団の定員並びに欠員状況は。
- ③各分団並びに消防支援隊の平日昼間時、並びにそれ以外の時間帯での火災等の災害への出動状況、イベントへの出動状況の経年的推移は。
- ④現状の人員状況に鑑み、様々な災害に対し、危惧されることは。
- ⑤各分団並びに消防支援隊の指揮系統は。
- ⑥消防団員の募集の実施方法は。
- ⑦「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の制定により、本町で実施された対応は。
- ⑧今後、消防団並びに消防支援隊に対して、短期的並びに中長期的にどのように取り組んでいく考えであるのか。